

著書

1. 運動イメージ・運動観察の脊髄神経機能とリハビリテーションへの応用（共著）編集工房ソシエタス, 2018
2. Self Training Based on Motion Analysis—動作分析から考える自主トレーニング—（共著）編集工房ソシエタス, 2021
3. Physical Therapy from Case Reports—症例から学ぶ理学療法—（共著）編集工房ソシエタス, 2023.

論文

1. 黒部正孝・他: 非練習側上肢での母指対立運動イメージが脊髄神経機能の興奮性に与える影響. 理学療法科学 33: 439-442, 2018.
2. 黒部正孝・他: 異なる頻度の周期的な母指対立運動後の脊髄前角細胞の興奮性変化—最大頻度と50%頻度の比較—. 臨床神経生理学 48: 639-644, 2020.
3. 黒部正孝・他: 異なる方法での等張性収縮が運動皮質や皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 関西理学 20: 39-41, 2020.
4. Masataka Kurobe, et al: Excitability of anterior horn cells after periodic or discrete repetitive movements. Muscle Nerve 64: 606-610, 2021.
5. 黒部正孝・他: 大腰筋と内腹斜筋斜行線維の筋緊張低下により寝返り動作の安定性が低下した脳梗塞後の一症例. 関西理学 21: 102-106, 2021.
6. Masataka Kurobe, et al: Optimal stimulation site of the femoral nerve to record F waves from the vastus lateralis muscle. Muscle Nerve 65: 242-246, 2022.
7. Masataka Kurobe, et al: Pain reduction method in recording F-waves from the vastus lateralis muscle. Muscle Nerve 67: 236-238, 2023.
8. 黒部正孝・他: 外側広筋からF波を記録する新しい方法. 基礎理学療法 26: 30—35, 2023.

学会発表

1. 運動イメージ前の運動練習が脊髄神経機能の興奮性に与える影響 第30回大阪府理学療法学会大会（2018, 大阪）
2. 5分間連続の電気刺激が脊髄神経機能の興奮性に与える影響 第48回日本臨床神経生理学会学会大会（2018, 東京）
3. Excitability of Spinal Motor Neuron Function Following Thumb Opposition Movements at Different Frequencies. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (KOBE, JAPAN, 2019)
4. 非周期的な母指外転運動が脊髄前角細胞の興奮性に与える影響 第3回日本リハビリテーション医学会秋期学術集会（2019, 静岡）

5. 運動頻度の異なる周期的な右母指外転運動が脊髄前角細胞の興奮性に与える影響—1Hzと2Hzの比較— 第49回日本臨床神経生理学会学術大会（2019, 福島）
6. 右足底前外側の触覚鈍麻により右下肢への荷重が不十分となり左立脚中期に左側へふらつきを認めた左延髄外側部梗塞の一症例 第25回和歌山県病院協会学術大会（2020, 和歌山）
7. 異なる収縮強度での周期的な母指外転運動後の脊髄前角細胞の興奮性変化 日本臨床神経性理学会学術大会第50回記念大会（2020, 京都）
8. 左内腹斜筋斜行線維の筋緊張低下により寝返り動作の安定性が低下した脳梗塞後の一症例 第20回関西理学療法学会症例研究学術大会（2020, 兵庫）
9. EXCITABILITY OF ANTERIOR HORN CELLS AFTER PERIODIC MOVEMENTS AT DIFFERENT NUMBER OF MOVEMENTS. AOCCN. The Seventh Asian and Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (KUALA LUMPUR, MALAYSIA, 2021)
10. 外側広筋からF波を記録する新たな方法 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会（2021, 京都）
11. 外側広筋からF波を記録する際の刺激頻度が痛みや検査値に与える影響 第27回日本基礎理学療法学会学術大会（2022, 大阪）
12. トップダウン評価を基に治療を行い歩行動作の実用性が向上した左腰部打撲の一症例 令和4年度紀南局士会主催症例検討会（2023, 和歌山）
13. 探査電極の貼付位置はF波の結果に影響するか 第53回日本臨床神経生理学会学術大会（2023年, 福岡）

シンポジウム

1. 外側広筋からF波を記録する新たな方法 第27回日本基礎理学療法学会学術大会—若手研究者による先端的基礎理学療法研究紹介—（2022, 大阪）